

職場の努力に報いない傲慢な会社姿勢を絶対許さない!!
『超低額回答』に対する怒りに立ち組織強化・拡大を目指し健全な会社をつくり出す声明

JR東労組は2026JR総連春闘方針に基づき、私たちの労働実感と生活実感を基に2026JR総連春闘をたたき抜いてきた。しかし3月12日に会社から受けた賃金改定と夏季手当の回答は、新人事賃金制度上での区分2の平均額(3,271円)を定期昇給分とベースアップ分でそれぞれ貼り付ける回答と2.9か月分の支給月数の『超低額回答』であった。まさに今回示された回答は、2月2日に社長名で出された「新賃金・夏季手当について」の通知で書かれた、新人事賃金制度で賃金・手当を改定するから定期昇給とベースアップは低額でも問題ないと言わんばかりの意思が貫かれている。この回答期日を前倒してまで示された回答は、JR東労組の定期昇給分とベースアップを上げる要求と趣旨から大きくかけ離れている。まさに春闘破壊ともいえる回答である。「会社から示された回答には納得できず怒りしかない」ことを私たちは明らかにする。

回答を受け組合員や未加入者から中央本部に寄せられた24,000件以上の本音の声を基に、中央本部は緊急再申し入れを提出した。本音の声を会社へぶつけるとともに、八王子地本は春闘集会を最大結集で開催し職場・地本・本部と連帯したたたかいをつくり出してきた。改めて共にたたかいをつくり出して頂いた組合員・家族・未加入者に感謝する。申20号交渉で出された会社回答は肯定的な意見が多いとし、私たちの「本音の声」に蓋をする主張である。社員を大切にせず、賃金を抑制する経営姿勢を絶対許すわけにはいかない。今後のベアの基準にしないことなどの本部が確認した項目に対して八王子地本は全面的に支持する考えであり、今後遵守させなければならない。

八王子地本は「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」をはじめ、組合員や未加入者に寄り添う運動をつくってきた。そしてレクなどを通じて人間関係を築き、寄り添う事を通じ組織拡大を実現してきた。これは日々職場で発生する問題や課題を一人だけの問題とせず、共に笑い支え励まし合い本音で相談できる仲間の存在と、正面から職場の問題や課題に立ち向かう東労組の存在があったからだ。今も多くの職場で言いたいことも言えず泣き寝入りし離職まで追い込まれた未加入者や、不満や問題を出しても会社や職場で改善されず会社に見切りをつけ退職をする未加入者がいる。そして「融合と連携」により、本来業務以外を含めた業務の過多を起因とした休日出勤や超勤が蔓延する職場実態となっている。出向組合員が年休手続きを行ったにも関わらず欠勤とされ賃金も減額されたが、支社に相談しても何も対応しない問題も発生している。八王子地本は組合員や未加入者の立場にたち、不安解消と不利益を許さず交渉を通じて会社に是正を求めてきた。当該の組合員から「八王子地本が交渉を行ったことで、今回は問題を対応してもらえた。東労組だから出来た。」と語られた。組合員に寄り添い会社に向き合う東労組のたたかいは決して社友会には実現できない。

未加入者・社友会の皆さんへ訴える!!会社回答やあらゆる施策に対し本当に納得しているのか、「知らない・分からない・あきらめた」で終わらせていないか。言いたいことを押し殺さず人間らしく生きるために私たちJR東労組と共に行動し支え合い自分たちや家族の明るい未来を切り拓こうではないか。

私たち八王子地本はこれからも組合員・未加入者に寄り添い、職場で働く仲間の声や職場実態を会社と真摯に妥協せず議論し改善を図り、安全で安心して働ける職場をつくっていく事を通じ、社友会でも他労組でもなく「東労組だから出来た」と組織の存在意義を示していく。そして会社によるハラスメント・不当労働行為に抗するたたかいを推し進め、未加入者が会社の目を気にせず東労組に相談・加入できる健全な会社をつくり、組織強化・拡大を実現させていこう!

2026年3月23日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部執行委員会